

八王子における学生の居場所づくり

～八王子の社会資源(人・こと・活動)を絡めて～

団体名 創価大学 文学部 西川ゼミ まがり
代表者 原 美香

① 事業内容

本事業の主な目的は、八王子における学生の居場所づくり、きっかけづくりである。我々の考える居場所とは、逃げ場となり、居心地の良さを感じる場所など、いわゆるサードプレイスと呼ばれるものである。きっかけづくりとは、学生が社会とのつながりをつくることである。

この目的を達成するための事業として、月1回の頻度で行う語り場の開催、社会との関わりづくりとして八王子地域の行事へのボランティアとしての参加、まち歩きツアーの3つを基本活動としている。以上の活動を総合して、学生にとって居場所となる八王子の魅力、街歩きマップの冊子にまとめた。

これらを通して、学園都市八王子で居場所を感じられていない学生に、八王子の魅力・行事・人・店を知ってもらい、地域の方々と繋がり交流する機会を作り、大学のある街の中で学生の居場所を作った。

② 実施報告

1) まがり語り場を開催

2018年4月から12月まで、まがり語り場を計8回開催した。場所はフードバンク八王子ワークスを間借りした。語り場では毎回トークテーマを設けて、学生が気軽に集える場所を提供し、さらに学生と社会人が繋がれるきっかけを作った。開始当初は参加者も限定されていたが、SNS等での周知を行った結果、創価大学生以外の参加者も増加した。

2) 古本まつりへの参加

北口商店会会長の清水氏が主催する古本まつりに、5月はボランティアとして参加し、10月はゆるゆるテントの一部を借りて「まがり書店」を出店した。



↑語り場のちらし



↑第4回語り場「まがり×ダンス」の様子



↑古本まつりへまがり書店を出店

3) 八王子街歩きを実施

事前調査の結果と八王子まちの魅力くちコミ隊からの推薦のもと、魅力ある店舗・人を発掘する街歩きを実施した。

4) 街歩きマップを作成

以上の活動を総合して、学生にとって居場所となる八王子の魅力、街歩きマップの冊子にまとめた。

③ 事業を実施した感想

語り場は、福祉を学ぶ学生が中心となり運営していることもあり“傾聴”の姿勢を大事にする空気が醸成された。また学内の所属団体を同じにしている友人と、普段は話さないような会話が生まれ、別の関係性を築くことができた。この傾聴の姿勢や別の関係性が居心地の良さにつながった。他にも、語り場には学生だけでなく八王子の大人もゲストとして参加することもあり、人生の少し先に行く先輩のリアルな体験を共有してもらうことから得られることも多く、語り場がより豊かになった。

次に、活動を通して、街に学生が出ていないと感じた半面、街は学生の力を必要としているとボランティアや街歩きで知った。一方で、街に出て社会貢献をしたいと考える学生も少なくはない。彼らの思いと行動を繋げる為に、来年度は街と若者を繋げられる窓口としての機能をまがりで果たしていきたい。具体的には街に貢献したい学生のニーズと、学生を必要としている街の人を繋げるまがり事業部を立ち上げる予定である。

謝辞

最後に、フードバンク八王子ワークス様、北口商店会会長清水様、八王子まちの魅力くちコミ隊様を始めとする地域の皆様、また大学コンソーシアム八王子関係者の皆様、一年間、本事業を支援していただき誠にありがとうございました。



↑八王子まちの魅力くちコミ隊さんと街歩き



↑まがり感謝デーパーティ



↑リーフレット表面